

令和3年度 へるん入試「読解・表現力試験」問題 出題意図

① ロボット導入によって無人化の進むレストランについての文章を読み、筆者がレストランの無人化の現状をどのようにとらえ、そこにどのような課題を見つけているのか、それらを的確に読解できるかを問う。設問は次の2つに分けられる。

1つめは、問2、問3のように本文の一部における表現を理解できているかどうかを問う形式である。

2つめは、問1、問4のように全体的な文章の主旨が把握できているかどうかを問うものである。

② 県境を越えて旅行するという具体的な行為を、法則として数式化する過程を理解できるかどうかを問う。教師と生徒の問答形式で分かりやすく展開するので、発言を正しく理解することができるか、それを抽象的に思考できるかがポイントなる。問1のような作図問2のような文章完成、問4のような数式記入、と多角的な形で解答することが求められる。また具体的な法則化の過程を追わせるだけでなく、問5においては、文章全体の基盤となる「法則」という概念そのものの理解を問うている。